

■本大会出場チーム

20チーム（22校）以下、演技順

| 道府県 | 学校名 | 本大会 出場回数 | 演技 分類 | チーム紹介 |
|------|--|-------------|--------------|---|
| 鳥取県 | 琴の浦高等特別支援学校  | 初出場 | ダンス・メッセージ | <p>琴の浦高等特別支援学校ダンス部です。私たちの学校は、この10月で創立6周年を迎えました。今年初出場することができて、いろんな方へ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。今回使用する曲は、とてもすてきな歌詞で、部員みんなが共感できました。手話ダンスは難しく大変ですが、この気持ちを皆さんに伝えることができるよう、全力で頑張ります。みんなでダンスできる喜びと共に、皆さんに笑顔をお届けしたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。</p> |
| 鳥取県 | 鳥取城北高等学校  | 4回目 | 漫才・大喜利(なぞかけ) | <p>“手話の聖地”鳥取へようこそ。私たちは手話を学ぶ仲間たちが全国から集まるこの大会が本当に大好きです。今年もまたみんなで新たな学び、気づきを共有し、楽しいひと時を過ごしましょう！今回の私たちのテーマは“手話de大喜利”です。手話を使った漫才となぞかけに挑戦します。日本語の掛け詞を用いた言葉遊びを手話で表現しました。呼んでいただいたイベントでは、そのテーマに合った漫才、なぞかけを披露し、腕を磨いてきました。いよいよ本番です。手話パフォーマンス甲子園でのテーマはもちろん・・・。お楽しみに。</p> |
| 神奈川県 | 日本女子大学附属高等学校  | 初出場 | 人形劇・語り・歌唱 | <p>日本女子大学附属高等学校の人形劇団ベロッコです。普段は童話などの人形劇を通じて老人ホームや障がい者施設などで交流をしています。そんな私たちは手話に出会いました。部員のほとんどは手話の経験がありません。どうすれば伝わるのかと初めての手話に戸惑い、試行錯誤しながら練習を積み重ねていきました。そして次第に、皆で心を合わせてひとつのものを作り上げることの難しさや楽しさを知りました。手話と人形劇が融合した、楽しくて夢のある世界に皆さんをご案内します！</p> |
| 鳥取県 | 境港総合技術高等学校  | 5回目 | 演劇 | <p>地元鳥取県から5年連続の出場を果たした境港総合技術高校福祉科ボランティアコース19人です。私たちは地元保育園の「境港お魚探検隊」活動の高校生サポーター役として子どもたちと出会い、交流を重ねています。子どもたちのまっすぐな優しさをもって私たちも自然と笑顔になっていくのを感じます。小さな頃からもっと手話に親しんでもらいたいという願いを込めて、子どもたちへの手話活動を続けてきました。今日はその中の手話朗読劇「おへそのあな」を披露します。あたたかい絵本の世界を大事にしたパフォーマンスを見てください。</p> |
| 広島県 | ノートルダム清心高等学校 広島南特別支援学校  | 2回目 初出場 | 歌唱・演劇・ギター演奏 | <p>私たちは広島南特別支援学校とノートルダム清心高等学校“しゅわっち”（手話同好会）の合同チームです。私たちの先輩の代から交流があり、今回初めて2校一緒に出場することになりました。コミュニケーション方法の違いなど様々な壁がありましたが、お互いの個性を認め合い、共に壁を乗り越えることで友情や絆を深めてきました。今回の演技はそんな私たちのこれまでの交流の集大成です。今まで私たちが広島の高校生の視点で考えてきたことを、手話で一生懸命伝えたいと思います。</p> |

■本大会出場チーム

| 道府県 | 学校名 | 本大会 出場回数 | 演技 分類 | チーム紹介 |
|-----|---|-------------|------------------|---|
| 愛媛県 | 済美高等学校  | 初出場 | 歌唱・ダンス・演劇・ナレーション | 済美高校2年生12名のチームです。手話の経験が全くない私達ですが、校訓「やればできる」を信じてゼロからスタートしました。高校での震災学習を通して学んだこと、感じたことを伝えます。私達のふるさと愛媛も西日本豪雨災害で被災しました。全国からの温かいご支援に心から感謝しています。また、手話と関わることで、多くの方々からお話を伺うことができ、障がい者の方が安全に避難することの大変さ、情報伝達の大切さを学ぶことができました。愛媛からのこの想いが、全国各地の皆さんに届きますよう、願いを込めて頑張ります。 |
| 東京都 | 立川ろう学校 (第4回大会第3位) 富士森高等学校  | 3回目 初出場 | 演劇・ダンス・イリュージョン | 都立立川ろう学校と初参加初出場の都立富士森高校ボランティア部との合同チームで挑戦します。今年のテーマは“情熱”です。日本全国を55歳から17年間かけて歩いて測量し、日本地図を完成させた伊能忠敬の人生と耳の聞こえないリコが愛してやまない阿波踊りのパフォーマンスという強引な筋書きで展開します。最後は軽快なラップ調の音楽での阿波踊りとアッと驚くようなイリュージョンで会場を大いに盛り上げたいと思います。是非一緒に手拍子をお願いします。 |
| 奈良県 | 聖心学園中等教育学校  | 3回目 | ダンス | 聖心学園中等教育学校の創作ダンス部（通称S.D.C）です。私達の学校は中高一貫校で、普段は中学1年生から高校2年生までと一緒に活動しています。部員のほとんどが未経験者ですが、チアダンスやタップダンスなど、様々なジャンルのダンスに挑戦しています。その中でも今回はサインダンスを踊ります。サインダンスは手話を取り入れたダンスで、先輩方から十年間代々受け継ぎ、様々な曲を表現してきました。今日はレミオロメンの「粉雪」を踊ります。この曲の素晴らしさが全ての人に伝わるよう、一生懸命頑張ります。「Let's go S.D.C! We are NO.1!!」 |
| 兵庫県 | 鳴尾高等学校  | 初出場 | 歌唱・ダンス・演劇 | 兵庫県立鳴尾高等学校は高校野球球児が目指す、甲子園球場の近くにある高校です。私たちはそこで「教育・看護・福祉」の勉強を通じて、「リーダーシップ」や「コミュニケーション能力」を高めるために様々な活動を行っており、授業の一環で手話についても学びました。この手話パフォーマンス甲子園への参加も今年で3回目となりますが、いつも予選通過は果たせませんでした。今回は過去の審査結果で頂いたアドバイスを元に、元気に愉しく手話を表現しようと努めました。この大会に参加された皆さんが愉しくなるように表現します。 |
| 熊本県 | 黒石原支援学校  | 初出場 | 演劇・ポエム | 初出場の熊本県立黒石原支援学校です。メンバーは現在1年生1人しかいませんが、ボランティアで手話通訳をする等、手話を自分の生きがいとして日夜取り組んでいます。今回憧れていた大会に出場が決まり、とてもうれしいです。今年度は、車椅子で生活している自分が日常の中で感じたことをテーマに、手話パフォーマンスを通して悩みや思い等みなさんにしっかりと伝えたいと思います。たくさんの人の前に1人で立ったり、気持ちを人前で表現したりすることはとても緊張しますが、自分にできるベストを尽くして頑張ります。 |

■本大会出場チーム

| 道府県 | 学校名 | 本大会 出場回数 | 演技 分類 | チーム紹介 |
|-----|---|-------------|-------------------------------|---|
| 東京都 | 中央ろう学校  | 3回目 | ダンス ・演 劇・歌 唱・ ASL | 東京都立中央ろう学校高等部生活文化部です。生活文化部では、部誌作りや茶道体験、調理実習、文化祭でのステージ発表など、活動内容は生徒自身で決められるのでやりたい事を実現できる自主性を大切にしたい部活です。昨年、一昨年と手話パフォーマンス甲子園に出場することが出来ましたが、自分たちの良さをあまり発揮することが出来ませんでした。今年度は、映画「THE GREATEST SHOWMAN」を見て感じた感動を様々な表現方法を用いる事で私たち一人一人の良さや魅力を出し、会場と一体になって最高のステージにしていきたいと思っています。 |
| 沖縄県 | 真和志高等学校 (第3回大会準優勝)  | 5回目 | ダンス | 今年で、連続出場5回目となる真和志高校です。私たち手話部は、とても賑やかで個性的な人が揃っています。皆で手話を教え合い、協力し、楽しく練習をしています。また、過去には準優勝、審査員特別賞を頂きました。昨年度の大会以降は、沖縄県内でも手話の普及イベントやテレビ番組の取材も受け、沖縄県の手話普及運動に協力させて頂きました。私たちの活動が、一人でも多くの人に手話の必要性を知ってもらえるよう今後も活動していきます。その前進となる今大会では、悲願の優勝目指して頑張ります。 |
| 熊本県 | 熊本聾学校 (第3回大会優勝)  | 4回目 | 落語・ 漫才 | 4回目の出場になる熊本聾学校。今年は手話落語の笑いで勝負します。熊本手話落語部は、「大喜利」の形態模写当て、「コント」や本格的な「小噺」の演目で活動し、学校や地域で発表し喜ばれています。本来「大喜利」は1つの題を1人で演技披露します。しかし、手話パフォーマンス甲子園では、特別に、中心になる1人だけでなく、5人全員がかけあいや合いの手を入れてにぎやかに演技します。また、お客様に答えを当てただく時間は省略しますので、「あれはきっと〇〇だ」と客席で考えてみてください。さあ、笑いの世界へ、どうぞ！ |
| 愛知県 | 岡崎東高等学校  | 3回目 | ダンス ・短歌 | 私たちはJRC部手話有志チーム「smile」です。ボランティア精神溢れる8人がJRC部入部により手話と出逢い、手話に惹かれていきました。私たちは、JRCの活動を通して多くの方と出会いました。みなさん素敵な笑顔で私たちと接してくれ、ボランティア活動に参加している私たちが多くの方の元気をもらいました。そんな誰もが、笑って共に生きていける社会、「共生社会」の大切さを痛感しました。手話パフォーマンスを通して、一人でも多くの方が「共生社会」を考えるきっかけになって頂きたいです。 |
| 鳥取県 | 米子東高等学校  | 初出場 | ダンス | こんにちは。ようこそ、米子へ！私たちは、鳥取県立米子東高等学校ダンス部です。私たちは、手話パフォーマンス甲子園初出場で、一つ一つが0からのスタートでしたが、手話について学んでいくうちに、手話で会話をできるようにになりたいという思いや、手話をもっと世の中に伝えたいという思いが強くなりました。この思いを、HAND SIGNさんの「僕が君の耳になる」に乗せて、米子東高校バージョンでお届けします。本大会は、私たちが生まれ育った、ここ鳥取県米子市で開催されるので、みなさんに米子の良さも感じていただけたら幸いです！ |

■本大会出場チーム

| 道府県 | 学校名 | 本大会 出場回数 | 演技 分類 | チーム紹介 |
|------|---|-------------|------------|---|
| 福岡県 | 三井高等学校  | 5回目 | 歌唱・ ダンス | 手話ソングが大好きな三井高校Sクラブボランティア部です。今年は国際手話ソングとダンスを交え、それぞれの個性と、現在の高校生活の楽しさについて「true colors」「キミの夢は、ボクの夢。」の2曲を披露します。 |
| 神奈川県 | 横浜南陵高等学校  | 3回目 | 演劇・ コント | 私たち社会福祉部は、手話ソング・通訳、ボランティア活動を通じ、手話や聴覚障害者への理解を広めるべく活動しています。言葉が通じなくても、ニコッと笑えば心の壁が消えて気持ちが通じるように、笑顔には秘めたパワーがあります。最近物騒な事件や災害が増えているからこそ、笑顔で過ごせる時間はかけがえのないものです。そこで今回は、笑顔をテーマにコント劇に挑戦します。会場の皆さんに笑顔と幸せを届けられるように頑張ります！「地球での溢れる笑顔が見たいと言い出したおてんばすぎる姫の大冒険が今始まる…！？」 |
| 愛知県 | 杏和高等学校（第4回大会準優勝）  | 4回目 | 狂言 | 「尾張の歴史紹介と伝統芸能の継承」をテーマに、尾張新作狂言「おそそ仁王」（やまかわさとみ作）を演じます。地震と洪水の爪痕が残る尾張の国。狐たちが洪水で足を悪くし疫病にかかった母のために、美肌に御利益のある「おそそさま」なる秘仏を盗みだそうと、名刹・甚目寺に仏師に化けて訪ねてきます。坊主と尼に仁王像の見本を努めさせ、浮かれさせたその際に「おそそさま」を盗み出そうとしますが、どうなることやら……。狂言独特の語り口調や所作、そして小鼓や笛の演奏も見所の一つです。どうぞお楽しみに！ |
| 石川県 | 田鶴浜高等学校（第1回大会優勝）  | 5回目 | 歌唱・ 演劇 | 「手話は言語」何の疑問も抱かず、分かった気になっていた私たち。何も分かっていなかった。手話での会話が当たり前の空間で感じた不安、孤独。ようやく気がついた。孤独は「言葉を奪い、生きる意欲を奪うこと」だと。分かったような気になったり「知らない」と、目をそらしたりするのではなく、現実目に向け、感じ、障害の有無や、状況に関係なく、孤独を感じている人を「知るための一歩」を踏み出すことの意味。「全ての人が、自分らしく 自分の言葉で語り、安心して生活出来る社会」の実現のために、私達は動き出します。 |
| 奈良県 | 奈良県立ろう学校 （第2・4回大会優勝、第3回大会第3位）  | 5回目 | 演劇 | 奈良ろう演劇部は「表現の世界に障害の壁はない」をモットーに創部15周年を迎えました。今回発表する作品のテーマは「希望」です。今から33年前の524人の死傷者を招いた大惨事日航機墜落事故の犠牲者の歌手の坂本九さんを悼み、その笑顔と歌からどんな逆境にみまわれようと希望を失うことなく、今を生きる幸福観を描きました。僕たちの熱い思いと美しくそしてパワフルな世界観を力いっぱい表現したいと思います。第5回大会の最後の舞台上で、多くの方々の記憶にいつまでも残るよう、感動してもらえるように頑張ります！ |